

## 第14回日本映画祭の実施

在ボツワナ日本国大使館  
令和6年9月26日

9月19日から9月21日までの3日間、ハポローネ市にあるリバーウォーク・モール内の映画館にて、在ボツワナ日本国大使館及び国際交流基金の主催により日本映画祭を実施しました。ボツワナにおける日本映画祭の開催は今回で14回目となり、当国政府関係者や外交団をはじめ、学生や家族連等多くの方々に参加いただきました。

当地では「日本といえばアニメ、マンガ」というイメージを持つ一般市民が多いこともあり、本年度の日本映画上映では、日本のアニメ上映に特化し、より多くの一般市民や子どもたちの参加を得ることができました。来場者の方々からは、普段接することない日本のアニメ映画を観ることができ、日本に親しみを覚えた、次回の開催を楽しみにしているといったご意見をいただきました。

本年度の上映作品は、「秒速5センチメートル」、「海獣の子供」、「すみっコぐらし とびだす絵本とひみつのコ」、「岬のマヨイガ」、「音楽」の5作品を映画館にて上映しました。また、本年度は特別上映会として、ハポローネ市内にあるリムコックウィン大学（ボツワナ）にて「秒速5センチメートル」を、また、同市にあるベン・テマ小学校にて「とびだす絵本とひみつのコ」をそれぞれ上映しました。リムコックウィン大学は、メディアコミュニケーション学部を有しており、日本のアニメや映像技術に関心を持つ学生や職員が参加しました。ベン・テマ小学校は、都筑・ボツワナ交流児童画事業を通じて、長年日本との交流プログラムを行っていますが、今回の特別上映会は同校の5・6年生が参加し、日本のアニメに親しんでもらう機会となりました。



開始式での大森大使による挨拶



映画上映前のレセプションの様子



上映会の様子（リムコックウィン大学）



上映会の様子（ベン・テマ小学校）